

美しが丘東小学校

令和8年度 学校説明会



本校の教育目標

「豊かな心 大きな夢 つなげ広げる 美東の子」

【豊かな心】

(徳)礼儀を重んじ、友達を思いやり、感謝の気持ちをもつ子を育てます。

(体)健康の大切さを知り、自分や人の生命と体を大切にする子を育てます。

【大きな夢】

(知)自ら興味や関心を広げ、あきらめずに挑戦する子を育てます。

【つなげ広げる】

(公)自らができることを考え実践し、他社と共に生きようとする子を育てます。

(開)様々な人とのコミュニケーションを大切にし、豊かに表現できる子を育てます。

教育目標達成のために、教職員が心を合わせ、日々の教育活動に取り組んでいきます。

第1学年

なかよし

【基本方針】

- 一人ひとりが何事にもやる気をもって取り組み、頑張ったことで自信がもてるような学年経営を目指します。
- 保護者や地域との連携を図り、子どもたちの心身ともに健やかな成長を育みます。
- 話をよく聞き、自分の思いや考えを生き生きと発信できる子を育てます。

【このようなことに取り組みます】

- 友だちとの関わりを大切にしながら、互いのよさや頑張りを認め合える場を作り、思いやりの心が育つように指導します。
- 家庭や学年間との連携を密に行い、子どもたちの小さな変化を見逃さず指導にあたります。
- さまざまな学習や体験を通して、自分のことは自分でできる力、粘り強く頑張る力をつけられるようにします。

第2学年

にこにこ チャレンジ！！

【基本方針】

- 個々の児童の個性と良さを積極的に認め、また児童同士もお互いを認め合い、自分を大切にし、相手を思いやることができる子どもを育てます。
- 事象との出会いを大切にし、子どもたちの興味・関心から学習課題を設定し、問題意識をもって学習に取り組むことができるように、学習指導を進めます。
- 一人ひとりが何事にもやる気をもって取り組み、失敗も経験とし、自分から進んでチャレンジできる子どもを育てます。

【このようなことに取り組みます】

- 授業では、各単元の確実な理解・習熟が図れるよう、話を聞くこと、基礎的基本的な内容について繰り返し学習できるよう努めます。
- 学校行事を通して、集団におけるルールを守ることの大切さを学び、活動の楽しさを実感できるよう支援していきます。
- 子ども達同士で学び合い、身近な人と多様な形で関わるができるようにします。

第3学年

元気よく、なかよく、やりきろう！

【基本方針】

- 自分から進んで行動し、互いの良いところを見付け、友達を大切にする子どもたちを育てます。
- 自ら課題を見つけて考え、めあてに向かって進んで解決していく力を育てます。
- 友達の輪や活動範囲を広げ、友達や地域の人とより深く積極的に関わりながら、よく考えて行動できる力を育てます。

【このようなことに取り組みます】

- 校外学習や体験学習などを通して、友達のことを思いやり、協力して活動できるように支援します。学年での交換授業の良さを生かし、共通理解を図り、指導にあたります。
- どの学習においても、自ら課題や興味をもち、積極的に関わって問題解決が図れるように身近な材を取り入れながら、指導を行います。

第4学年

一致団結

【基本方針】

～ きりかえ（協力・立派な態度で・考える・笑顔）～

- 互いを思いやり、相手の良さや個性を認め合いながら、よりよい関わりを築いていける学年を目指します。
- 学習活動では、課題に進んで取り組み、協力して解決する力を身につけられるように支援します。

【このようなことに取り組みます】

- 自分も周りの人も大切だということに気づき、お互いを認め合いながら過ごせるように指導します。
- 周りに流されず、正しいことを自信をもってできるように指導します。
- 体験的な学習の機会を取り入れ、自分のめあてに向けて見通しをもって活動できるようにします。

第5学年

スターファイブ

～元気に楽しく・挑戦・切り替え・なかよし・協力～

【基本方針】

- 今、何をすべきか。メリとハリ。オンとオフ。一生懸命取り組む時とちょっと息を抜く時の区別をつけられる子どもを育てます。
- 学習や行事に責任感をもって取り組み、課題を成し遂げるために、最後まで諦めずにやり遂げることのできる子どもを育てます。
- 自ら考え決断し、主体的に取り組む子どもを育てます。
- 自分や友達のとよさと成長を認め合い、自分や友達の心を大切にできる子どもを育てます。

【このようなことに取り組みます】

- 教科担任制や少人数制を導入し、学年チームで子どもたちを育てていきます。学級担任との関係性だけでなく、より多くの教師と接して人間関係を築く中で心の安定を図り、学びを深め、個性や能力を伸長させていけるよう指導、支援をします。
- 学習やあらゆる行事活動において、課題解決に向かって自分で考え、自分の力で乗り越えることができるよう、目標を設定して取り組みます。

第6学年

M K 6

～想像力を豊かに 目指せ 聖徳太子～

【基本方針】

- 見通しや責任をもち、何事にも積極的に取り組みやり切ることで、達成感を味わい自らの力を日々、伸ばしていく子を育てます。
- 互いの個性を認め合いながら、一人ひとりが自分らしく活躍し、他者との関わりも大切にできる学年を目指します。
- 自ら課題を見つけ、主体的・協同的に解決に向かう姿勢を目指します。
- M（メリハリ）K（協力）を意識して動くことのできる6年生になることを目指します。

【このようなことに取り組みます】

- 教科担任制を引き続き行い、学年で子ども達を育てていきます。また、豊かな学びを目指し、外部講師による授業、様々な校外学習など、多角的な学習の場を設定します。
- 一人一役で学校行事などの実行委員を担当し、主体的に取り組みます。
- どの活動においても、よりよい方法を自分や教師と考えられるように支援していきます。

456組

【基本方針】

- 基本的な生活習慣を身につけ、挨拶を大切にしていきます。
- 友だちとの望ましい接し方、協力の仕方を学ぶとともに、人と関わることのよさを伝えていきます。
- 自分のよさが分かり、前向きにチャレンジする態度を育てます。

【このようなことに取り組みます】

- よいところや努力する姿を認め合い、称え合う雰囲気大切にしていきます。
- 遊びや学習での交流など、日常生活のさまざまな場面で友だちと関わる場面を設定していきます。
- 挨拶や返事、お礼の言葉など日常生活の中で実践していけるよう、繰り返し声かけしていきます。

**みんな なかよく
たすけあう
らんらん えがお
しずかにはなしをきくクラス**

保健室

- 「けがゼロへ～けがを減らすためにできることを考えよう～」というけんこうテーマのもと、けんこう委員を中心に、いろいろな場面で一緒に考え実践します。
- ほけんだよりや掲示物を通じて、時節に合わせた健康情報を伝えます。
- 自分の心身の健康づくりを積極的に目指し、自他の生命を尊重できる児童の育成を行うことを心がけます。

給食室

- 命を大切にし、生涯にわたり自ら健康的な生活を送る子どもを育てるために、日本型の食事を進めます。
- その日の献立のねらいを「パクパクだより」を通して、具体的に伝えます。
- 給食のよさを、給食委員会を中心に、いろいろな場面で一緒に考え、全校に伝えていきます。

今年度の重点研究

「個別最適な学びと協働的な学びの一体化を目指す国語科」
～子どもに委ね、子どもが創り、主体性が伸びる授業～

○研究主題

一人ひとりが自分の学びを主体的に進められるようにするとともに、友達との対話を通して新たな視点を獲得し、思考をより深く豊かにしていく学びを大切にしていきます。個別最適な学びと協働的な学びを往還させ、「主体的に学ぶ子ども」を育てます。

○研究方法

年間を通して全教員が研究授業に取り組み、学年やブロックで研究の成果を共有することで日々の授業力向上を図ります。また、外部講師を招請して研修及び研究授業についての指導・助言を受け、研究主題に迫るための授業改善を行います。

児童指導・児童支援体制

複数の教職員が様々な場面でかわり、お子さんの学習、生活での成長や課題を見取り、指導・支援をします。

学年主任が学年全体の子どもに目を向けられる時間を確保し、教員同士で目標や情報を共有しながら、学年全体で子どもを育てます。

学年主任

養護教諭

担任や学年主任だけでなく、どんな悩みもキャッチできるように学校全体を見ていきます。

スクール・カウンセラー
スクールソーシャルワーカー

担任

子ども

児童支援専任

副校長

校長

様々な学年で教科担任制や授業交換を実施し、多くの教員と触れ合う機会を確保します。また、授業の質を高め、適正な評価に取り組みます。

学年教諭

副担任

教科指導や児童との関わりなど教師の日常的なスキルアップを図ります。

専科・少人数

様々な教科で、少人数、ティーム・ティーチング、専科等を実施します。

特別支援コーディネーター

個に応じた支援を充実させるため、4人の特別支援コーディネーターによるユニバーサルデザインを実践します。

今年度の主な行事予定

- ・運動会 5月30日

- ・6年 日光修学旅行 9月 9日・10日

- ・5年 西湖体験学習 10月 1日・ 2日

- ・4年 高尾体験学習 10月26日・27日

- ・全校 なかよしピクニック(仮称)

10月30日(候補日)

(その他の校外学習については、各学年のお知らせをご覧ください。)

- ・卒業証書授与式 3月18日

すべての子どもが楽しい学校

～明日も行きたくなる学校づくり～

本校が大切にしているのは、「すべての子どもが楽しい学校」です。

まず、子どもたちへの組織的かつ専門的なサポート体制を整えます。学年の連携や副担任、児童支援専任との連携など、複数の目で子どもたちを見守ります。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、学習面だけではなく心の面や家庭とのつながりも含めて支えてまいります。

そして、子どもたちの本物体験を大切にします。地域の力を活用し、実際に見て、触れて、感じる学びを充実させます。出前授業などを通して、教室の中だけでは得られない感動を育てていきます。

さらに、「子どもも大人も1人にしない」という姿勢も大切にします。副担任を置くなど複数体制を整えることは、子どもだけではなく教職員にとっても支えになります。複数体制(チーム)で組織的に対応する状況があるからこそ、教職員も安心して子どもたち一人ひとりに丁寧に向き合うことができます。

「楽しい学校」とは、安心と成長が実感でき、明日も行きたくなる学校です。その実現に向けて、保護者の皆様とともに、子どもたちを支えてまいります。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

学校長 野澤 聡子